

## インターネット、SNSの正しい使い方

インターネット上のサービスを普段の生活や学校の授業で活用することは、生活を豊かにしたり、学ぶことへの興味を深めたり、知識を豊富にしたりと、多くのことに役立ちます。しかし、インターネットには影の部分があり、正しく使用しないことで人を傷つけたり、逆に自分が被害者になったりすることもあります。社会のルールを守り、正しく使用することを心掛けましょう。

### 1. 自覚と責任を持ちましょう。

書き込んだ内容は世界中の人が目に見ることができ、一度書き込んだ内容は完全に消すことができない。え、無制限に拡散する可能性があることを忘れてはなりません。

### 2. 適切な情報発信、コミュニケーションを心掛けましょう。

インターネット上において適切な情報発信、コミュニケーションを行うことは、自分の世界を広げるとともに、他者との良好な関係を構築したり保ったりすることにつながります。みなさん一人ひとりの行う情報発信や対応が、社会や他人に対して影響を与えることを意識して使用しましょう。

### 3. 規律、マナーを順守しましょう。

次に挙げるきまりを守るとともに、インターネットを使用する際のマナーを理解し、自己の行動に責任を持ちましょう。

#### ○個人情報を書き込まない

個人が特定できる情報（氏名・住所・電話番号・メールアドレス・写真など）は絶対に書き込んではいけません。個人情報が悪用される恐れがあります。

#### ○他人の悪口、誹謗中傷、噂などは絶対に書き込まない

他人の悪口や誹謗中傷、悪意のある噂などを書き込むことは絶対にしてはいけません。人間関係のトラブルやいじめ、名誉棄損につながることもあります。

#### ○画像・映像をむやみに掲載しない

自分の撮影した画像や映像をネット上に公開することは、そこに写っている人や場所の人権や肖像権の侵害になることがあります。自分の画像や映像もその姿が世界中に公開されることを忘れてはなりません。知らないうちにトラブルに巻き込まれる原因となります。

#### ○コミュニケーションの内容には注意する

知らない人とネット上で接触することは思わぬトラブルに巻き込まれる恐れがあります。また、友人とのやりとりを他人に公開することもトラブルのもととなります。一度掲載した文字を消すことはできません。掲載する前に読み直す習慣をつけましょう。

○SNSに縛られない・縛らない・頼らない

SNSでのやり取りに過度に気を取られる必要はありません。すぐに返信をすることができない場合があることや必ずしも返信が来るとは限らないことを理解して使用しましょう。文字でのコミュニケーションだけでは気持ちは伝わりません。本意ではない内容に受け取られてしまうこともあります。SNSを利用しないことも必要です。お互いの顔を見て会話をして人間関係を構築しましょう。

○ネット情報を信用し過ぎない

インターネット上の情報やSNSに書き込まれている内容が本当に正しいかどうかを見極める必要があります。誰が情報を流しているのか、その情報はどこからきているのかをよく把握し、デマに流されることがないように気をつけましょう。

※従来のおりではありますが、ネット上・SNSで他人の悪口、誹謗中傷、悪意のある噂などを書き込んだり、他人への迷惑につながる画像や映像を掲載したりすることは特別指導を含む生活指導の対象となります。

※「ながらスマホ」をしないようにしましょう。